

平成 28 年度共同利用研究・研究成果報告書

| | |
|--------|--|
| 研究課題名 | 和文：神岡での重力波観測（X V） 英文：Gravitational Wave Detector in Kamioka（X V） |
| 研究代表者 | 大橋正健（東大宇宙線研） |
| 参加研究者 | 東大宇宙線研 三代木伸二、内山隆、宮川治、山元一広、廣瀬榮一、 端山和大、栗井恭輔、戸村友宣、上泉眞裕 東大地震研 新谷昌人 国立天文台 麻生洋一 産総研 寺田聡一 大阪市大 田越秀行 長岡技術科学大 高橋弘毅 |
| 研究成果概要 | <p>CLIO 本体は、水没事故以来、復旧作業を続けているが、まだ稼働できる状況にない。また、現在は KAGRA に研究者のマンパワーをつぎ込んでおり、早急に CLIO を復旧させる見通しがついていない。ただし、CLIO で初期試験された低温ミラーとその防振系、懸架系がつぎつぎと出来上がりつつあり、重力波の研究全体としては十分な成果があったと考えている。</p> |

整理番号 F18